



市議会だより

第37号

12月定例会

# にはほんまつ

平成27年2月1日発行  
発行：二本松市議会  
福島県二本松市金色403番地1  
Tel.0243-55-5143/Fax.0243-22-6047

## 福島県と安達地方観光物産展

東京浅草・浅草寺 12月6日～7日開催



「ザクザク」は完売となる人気



菊松くんが会場で二本松をPR

一般会計2億2,470万円の補正予算を可決  
提出議案41件、原案のとおり可決

定例会概要 2

行政課題の解決に向けて

常任委員会審査報告

常任委員会報告 4

よりよい議会活動をめざして

常任委員会行政視察報告

行政視察報告 6

市の明日を考える

一般質問に19人が登壇

除染実施世帯の不安解消のための意見聴取の場が必要では ほか

一般質問 8

議会の動き・お知らせ・編集後記

お知らせ 16

小学校デジタル教科書購入（教師用教科書・指導書）  
 営農（水田・草地）放射性物質抑制対策等

2億2,470万円の補正予算を可決

二本松市議会12月定例会は、12月2日から12月17日までの16日間を会期として開催されました。

今回提出された議案は、二本松市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例制定、平成26年度一般会計補正予算、指定管理者の指定など市長提出議案34件、市長追加議案6件、議員提出議案1件でした。

これらを慎重に審議した結果、二本松市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正と二本松市常勤の特別職の給与の支給に関する条例等の一部改正、平成26年度二本松市一般会計補正予算の3件は賛成多数で可決、その他の議案は全会一致で原案のとおり可決されました。

条 例

- ◎二本松市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例  
 児童福祉法の規定に基づき、放課後児童健全育成事業の設備・運営に関する基準を定めるもの。
- ◎安達ヶ原ふるさと村屋内遊び場施設条例  
 安達ヶ原ふるさと村屋内遊び場の管理・運営に関し、必要な事項を定めるもの。
- ◎独立行政法人通則法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例  
 独立行政法人通則法の一部を改正する法律の施行に伴い、関係条例における引用条項等を改めるもの。
- ◎二本松市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例
- ◎二本松市常勤の特別職の給与の支給等に関する条例及び二本松市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例
- ◎二本松市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
 国の人事院・県の人事委員会勧告内容に沿って改正するもの。
- ◎二本松市国民健康保険条例の一部を改正する条例  
 産科医療制度の見直しに伴う出産一時金の支給総額を現行と同額に維持するため、改正を行うもの。
- ◎二本松市保育所条例及び二本松市立幼稚園条例の一部を改正する条例  
 子ども・子育て支援法関係諸法令の改正に伴い、所要の改正を行うもの。
- ◎二本松市学童保育所条例の一部を改正する条例  
 放課後児童育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の制定に伴うもの。
- ◎二本松市認定こども園条例の改正  
 子ども・子育て支援法関係諸法令の改正に伴い、所要の改正を行うもの。

補正予算

- ◎二本松市一般会計補正予算  
 学童保育所施設の拡張等のための措置、来年の営農に向けた水田及び草地に係る放射性物質吸収抑制対策事業に関する措置、給与関係条例の一部改正に伴う給与等の改定などを主として、現計予算の総額に歳入歳出それぞれ2億2,470万円を追加し、予算総額を565億5,366万円としたもの。  
 （歳出の主なもの）
- 総務費  
 ・ふるさと納税・復興応援寄付金を受けての地域振興整備基金積立金の増 4,346千円
- 民生費  
 ・障害者訓練等給付費の増 40,000千円  
 ・障害児通所給付費の増 25,500千円  
 ・学童保育所施設整備費の増 14,669千円  
 ・私立保育所保育料助成費の増 7,960千円
- 農林水産業費  
 ・水田原発事故対策事業の増 60,764千円  
 ・畜産原発事故対策事業の増 13,404千円
- 商工費  
 ・商店街近代化共同施設設置事業補助金の増 6,024千円
- 土木費  
 ・台風18号等に伴う道路等修繕費・補修資材費の増 17,000千円  
 ・二伊滝・表線配水管布設替工事内容変更に伴う補償補填金の増 13,100千円
- 消費費  
 ・安達地方広域行政組合消防費負担金の増 4,180千円
- 教育費  
 ・小学校教科書改訂に伴う教師用教科書・指導書等購入費の増 39,131千円

- 災害復旧費  
 ・市道のホットスポット除染委託料の増 5,000千円
- その他  
 ・安達地方土地開発公社の解散に伴う出資金返還金を受けての土地取得特別会計繰出金の増 19,515千円  
 （歳入の主なもの）
- がんばる地域交付金 33,000千円
- ◎国民健康保険特別会計補正予算
- ◎後期高齢者医療特別会計補正予算  
 給与改定・職員の異動整理に伴う人件費を補正したもの。
- ◎介護保険特別会計補正予算  
 介護保険法の改正に対応するためのシステム改修経費の増額、職員の異動整理等に伴う人件費を補正したもの。
- ◎土地取得特別会計補正予算  
 安達地方土地開発公社の解散に伴う出資金を一般会計から繰入れ土地開発基金に積み立てるため補正したもの。
- ◎岩代簡易水道事業特別会計補正予算  
 消費税額確定に伴う消費税納付金及び職員の異動整理等に伴う人件費を補正したもの。
- ◎東和簡易水道事業特別会計補正予算  
 施設修繕費及び職員の異動整理に伴う人件費を補正したもの。
- ◎岩代下水道事業特別会計補正予算  
 小浜川の河川改修及び災害復旧による下川西橋改築に伴う公共下水道汚水管河川横断橋布設替えに係る設計委託費を増額したもの。
- ◎水道事業会計補正予算  
 配水管布設替工事内容変更に伴う事務費として雑収益の増、職員の異動整理等に伴う人件費を補正したもの。
- ◎下水道事業会計補正予算  
 職員の異動整理等に伴う人件費等を補正したもの。

## 指定管理者の指定

- ◎二本松市老人デイサービスセンター（二本松・安達・岩代）
- ◎二本松市生きがいデイサービスセンター（二本松・安達・岩代）  
社会福祉法人二本松市社会福祉協議会（再）
- ◎二本松市スカイピアあだたら・道の駅「安達」智恵子の里・和紙伝承館  
二本松市振興公社（再）
- ◎道の駅 さくらの郷  
企業組合 さくらの郷（再）
- ◎二本松市ウッディハウスとうわ  
キョウワプロテック株式会社（再）

## その他

- ◎二本松市教育委員会委員任命の同意  
関 奈央子さん（戸沢・新任）
- ◎二本松市固定資産評価審査委員会委員の同意  
鈴木佐登志さん（上蓬田・再任）  
二階堂賢一さん（油井・再任）  
根本 清一さん（小浜・再任）  
紺野 岩男さん（戸沢・再任）  
本田 都さん（上平内・新任）

### ○市長提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第100号	専決処分の承認を求めることについて（平成26年度二本松市一般会計補正予算）	原案承認
第101号	二本松市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例制定について	原案可決
第102号	安達ヶ原ふるさと村屋内遊び場施設条例の制定について	原案可決
第103号	独立行政法人通則法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	原案可決
第104号	二本松市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第105号	二本松市常勤の特別職の給与の支給等に関する条例及び二本松市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第106号	二本松市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第107号	二本松市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第108号	二本松市土地開発基金条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第109号	二本松市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第110号	二本松市保育所条例及び二本松市立幼稚園条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第111号	二本松市学童保育所条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第112号	二本松市認定こども園条例の改正について	原案可決
第113号	二本松市二本松老人デイサービスセンターの指定管理者の指定について	原案可決
第114号	二本松市安達老人デイサービスセンターの指定管理者の指定について	原案可決
第115号	二本松市岩代老人デイサービスセンターの指定管理者の指定について	原案可決
第116号	二本松市二本松生きがいデイサービスセンターの指定管理者の指定について	原案可決
第117号	二本松市安達生きがいデイサービスセンターの指定管理者の指定について	原案可決
第118号	二本松市岩代生きがいデイサービスセンターの指定管理者の指定について	原案可決
第119号	二本松市スカイピアあだたらの指定管理者の指定について	原案可決
第120号	二本松市道の駅「安達」智恵子の里の指定管理者の指定について	原案可決
第121号	二本松市和紙伝承館の指定管理者の指定について	原案可決
第122号	二本松市道の駅さくらの郷の指定管理者の指定について	原案可決
第123号	二本松市ウッディハウスとうわの指定管理者の指定について	原案可決
第124号	平成26年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第125号	平成26年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第126号	平成26年度二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決
第127号	平成26年度二本松市介護保険特別会計補正予算	原案可決
第128号	平成26年度二本松市土地取得特別会計補正予算	原案可決
第129号	平成26年度二本松市岩代簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決
第130号	平成26年度二本松市東和簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決
第131号	平成26年度二本松市岩代下水道事業特別会計補正予算	原案可決
第132号	平成26年度二本松市水道事業会計補正予算	原案可決
第133号	平成26年度二本松市下水道事業会計補正予算	原案可決
第134号	二本松市教育委員会委員任命の同意について	原案同意
第135号	二本松市固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	原案同意
第136号	二本松市固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	原案同意
第137号	二本松市固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	原案同意
第138号	二本松市固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	原案同意
第139号	二本松市固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	原案同意

### ○議員提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第15号	国に対し「東日本大震災の被災者に対する援助のための日本司法支援センターの業務の特例に関する法律」の有効期限を延長する立法措置を求める意見書の提出について	原案可決

# 常任委員会の審査報告

## 総務常任委員会

### 一般会計補正予算・給与条例改正について

問 東和地域の投票所巡回車両の経費が計上されているが、どのくらいの乗車になっているのか。また、巡回車両の運行により投票率の向上につながっているのか。

答 当初は4台の巡回車両であったが、現在は2台で運行している。車両不足も心配されたが、案内誘導の公用車を随行させ対応できている。また、投票率の低下が懸念されているが、巡回車両の運行により今後も投票率の向上に努めていきたい。

問 今回の給与改定に伴い増額となる人件費の総額は。

答 総額で3,134万4,000円程度である。

問 電柱等移設工事負担金の内容は。

答 電柱に添架されている光ケーブルの工事範囲により負担するようになる。負担にあたっては事前にNTT側と協議している。



机上審査の様子

## 市民産業常任委員会

### 一般会計補正予算等について

問 指定管理者の指定にかかる審査内容はどのようなものか。

答 指定管理者の指定手続等に関する条例中に、候補者の選定という項目がある。その中で、その事業計画による公の施設の運営が、市民の平等な利用の確保及びサービスの向上が図られるものであること。その事業計画書の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。その事業計画書に沿った管理を安定して行う能力を有するものであること。この三項目に該当するものから候補者選定委員会での審査をもとに、市長が候補者を選定し、議会に提案することとなる。

問 平成26年10月1日から導入した非破壊式放射能測定装置の利用実績はどのようになっているか。

答 本庁及び各支所に導入している5台分の合計で、10月は637件、11月は638件測定している。また、10月に測定したもののうち、50ベクレルを超えたものが18件、そのうち100ベクレルを超えたものが11件あり、50ベクレルを超えたものには野生のキノコ類が多い。

問 農地制度実施円滑化事業について、補正前の当初予算額に農地台帳システム改修も含まれていたのか。また、農地台帳のインターネットでの公表

内容はどのようなものか。

答 当初の予算は農地台帳システムの管理経費等であり、今回の補正はインターネット上での農地台帳公表に対応するための改修である。インターネットでの公表内容については、農地の所在、地番、地目、面積、賃借権等の種類・存続期間、耕作者ごとの整理番号、遊休農地の措置の実施状況、貸付に関する所有者の意向、農振法・都市計画法等の区域区分、機構が借りている農地かどうか、以上の点についてガイドラインの中で示されている。

問 債務負担行為のうち、ふくしまDC推進事業の内容はどのようなものか。

答 大きなものとしては、ちょうちん祭り・紋付祭り・あばれ山車・幡祭り・安達の太鼓等を霞ヶ城公園に集めて5月下旬に開催する、二本松祭りフェスタに関する経費、市内循環バスにかかる観光協会に対する補助、オープンガーデン二本松に対する整備の補助、スタートイベントの経費について計上している。



現地調査の様子（放射性物質測定センター）

12月8日に付託された各議案は、12月11日から15日にかけて、各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日17日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員会での審査の主な内容をお知らせします。

## 建設水道常任委員会

### 一般会計補正予算・水道事業会計補正予算等について

問 災害復旧費の市道ホットスポット除染について、通学路を再除染することのだが、実施する10箇所の場所はどこのか。

答 ホットスポットファインダーによる通学路の測定箇所は、すべての通学路ではなく、各学校周辺の幹線通学路について測定したところ、周りの空間線量よりも高い箇所が合わせて47箇所あり、除染済市道の再除染については、補助対象とならないことから、まず直営で除染を行い、直営でできない箇所や重機を使用する箇所などがでてくものと想定し、概ね10箇所程度の業者委託経費を計上するものである。

問 除雪対策費の除雪ボランティアについて、現時点での登録団体の数はどのくらいか。

答 トラクター除雪については、平成25年度は二本松地域で1団体2台、岩代地域で1団体10台であ

った。今年度は12月3日現在で、二本松地域は昨年と同じく1団体2台、安達地域は新たに1団体1台、岩代地域は新たに2団体10台増の、合わせて3団体20台の登録があり、東和地域は登録したいという話はあるが、まだ登録した団体はない。今のところ市全体では、5団体23台が登録済みである。



現地調査の様子（貸出用除雪機）

## 文教福祉常任委員会

### 子育て支援新制度に関する条例制定について

問 放課後児童健全育成事業の対象児童が、小学4年生から小学6年生に拡大されることにより、設備や人員等に不足が生じるおそれは。

答 人員については、放課後児童支援員を常時2名配置しなければならず、不足が生じるため、今後人員確保に努めていきたい。設備については、全ての施設で要件を満たしているが、油井の学童保育所では利用人数が多いことから、施設の改修を予定している。

問 安達ヶ原ふるさと村屋内遊び場について、使用料を徴収する規程があるが、使用料を無料にできないか。

答 市では行財政改革の中で、市の施設の使用料については、応分の負担をいただくこととしており、当該施設においても使用料の徴収はやむを得ないと判断した。ただし、原発事故等により運動する機会の少なくなった子どもたちのために、当面、使用料は徴収しないこととした。

問 導入を予定しているデジタル教科書は、市独自の取り組みか。

答 全学校の全学年への導入を進めているのは、県北地域の自治体では二本松市が初めて。今後、デジタル教科書の使用法・活用方法について理解を深めるための講習会等を開催し、授業の質の向上に努めていきたい。



机上審査の様子

# 常任委員会の行政視察報告

## 人口増加対策事業などを視察

総務常任委員会

11月17日～19日 高知県須崎市・仁淀川町

高知県須崎市では、「人口増加対策事業」について視察しました。定住対策のため平成15年4月に市が独自に宅地分譲地を造成し、同年8月から「上分住宅団地」として分譲を開始し、全25区画のうち17区画が分譲済となっております。特に独自の施策として分譲地を購入し住宅を建築した方に、「1区画35万円」の補助金を出しており、人口増加対策に寄与しております。

当市においても、人口増加対策のため、このような宅地分譲地に対する補助についても今後検討すべきではないかと感じたところであります。

仁淀川町では、「過疎集落再生事業」、「廃校利活用事業」について視察しました。まず、「過疎集落再生事業」では高知県内でも高齢化率が50%を超えている町であり、特に長者集落については地域資源であった荒廃した棚田を再生させるため、平成15年4月に地元有志が「だんだんクラブ」を発足させ、更に平成24年12月には高知県の支援を受け県内初の「集落活動センター・だんだんの里」を拠点施設として開所し、棚田の再生、棚田を活用したイベントの開催、小学生等との農作物の栽培等に取り組んでおります。

当市においても集落の高齢化、過疎化が進み、地区によ

っては集落を機能することが大変厳しいところもありますが、地域同士が支え合うことが集落の維持には必要ではないかと感じたところであります。

また、「廃校利活用事業」では合併前の吾川村時代に少子化により児童の減少が進み当時の「下名野川小学校」が平成12年3月に休校、平成16年3月に廃校となりました。そこで、地域住民による「下名野川小学校活用計画検討委員会」を平成14年2月に発足させ、本格的な小学校の再生計画についての自主的な話し合い、懇談会や先進地視察等を実施し、平成17年4月に宿泊を兼ねた多目的な交流施設である「山村自然楽校・しもなの郷」としてリニューアルいたしました。

当市においても廃校となった小学校があり、今後の利活用は大変重要な課題であります。小学校は地域住民にとっても思い入れのある施設であり、今後、廃校の利活用には地域住民の関わりや協力が不可欠であると感じたところであります。



須崎市での行政視察の様子

## ふるさと就労促進事業などを視察

市民産業常任委員会

11月11日～13日 福岡県古賀市、八女市、みやま市、熊本県熊本市

古賀市においては、「古賀市ふるさと就労促進事業」について視察してまいりました。同市では、市内の事業者が市民もしくはUターン・Iターン者を新規に正規雇用した場合、事業者に対して年間最大60万円の奨励金を交付することで、市の産業の振興、市民の安定就労及び定住化を促進し、地域の活性化の増進を図っているとのことであります。

八女市では、「八女市健康増進施設べんがら村事業」について視察してまいりました。「べんがら村」は、温泉、農産物直売所、貸し農園等多彩な交流施設を有する複合施設で、地域住民の交流の場となっております。貸し農園は、区画の約8割が利用され、都市と農村の交流という点で大きな効果が現れているとのことであります。また、大浴場の加温や給湯設備として導入した木質バイオマスボイラは、CO<sub>2</sub>排出量削減による地球温暖化防止やエネルギー資源の地産地消に役立っているとのことであります。

みやま市では、「みやま市縦断☆健康ラリー事業」について視察してまいりました。「みやま市縦断☆健康ラリー」は、市民の健康づくりを応援する事業で、ウォーキングなど適度な運動の継続を促進し、体力の維持・

増進のほかにも肥満・高血圧・糖尿病など生活習慣病の予防・改善を図っているとのことであります。

熊本市では、「大学生の機能別消防団員制度」について視察してまいりました。「大学生の機能別消防団員」は、平成26年10月1日現在で、市内4つの大学と1つの専門学校から男性84名、女性88名、合計172名が入団しており、大規模災害時に消防署員や消防団員の指揮の下、避難所での被災者の応急救護、救援物資の管理・配布、外国人の通訳などの役割を担うとのことであります。

今回の視察は、雇用を通じた市民定住化・地域振興事業、農業振興と健康増進を結びつけた事業、市民の体力の維持・生活習慣病の予防対策事業、消防団員の支援及び将来の団員確保につながる事業であり、当市といたしましても参考とすべき点が多い視察でありました。



熊本市での行政視察の様子

## 山間地域における道路整備事業などを視察

建設水道常任委員会

11月11日～13日 静岡県静岡市・岐阜県飛騨市

静岡市では、「山間地域における道路整備事業」について視察しました。

山間地域の道路整備については、急峻な地形等により膨大な事業費がかかることから、従来の方針である2車線整備では整備が進まない状況のため、地域の実情にあったローカルルールに基づく1.5車線の道路整備の手法を取り入れ、道路整備を進めており、現道の有効利用を図りつつ、必要な箇所を1車線改良や待避所設置などにより、すれ違いしやすくし、また、急カーブ箇所では、曲線半径改良や立ち木伐採などにより見通しを確保します。これまでより、少ない予算、短い工期で、スムーズな通行が可能となり、山間地域に住む市民の利便性を向上させることが可能となります。

飛騨市では、「住宅・建築物に関する支援制度」について視察しました。

三世帯同居世帯等支援事業補助金制度は、三世帯同居の世帯に対し、住宅の改修等を行う場合、その費用の一部を助成する制度であり、それまで実施していた住宅リフォーム補助金制度を見直し、助成対象を三世帯同居の世帯に限定することで、三世帯同居を推進し、人口減少対策、子どもの健全な育成、在宅介護による

社会保障費の抑制、高齢者の生きがいの創出などを目的とした助成制度であります。

ほかに、住宅建設等促進助成制度、景観建築物等助成制度、小宅地移転助成制度、移住促進住宅改修事業補助金制度、商店街空き店舗等活用事業奨励金制度等の説明を受けました。多種多様な支援制度により、定住人口の増加、古い町並みの保存、地域経済の活性化を進めております。



静岡市での行政視察の様子

## 学校教育事業などを視察

文教福祉常任委員会

11月10日～12日 福岡県太宰府市・大野城市・春日市・佐賀県神埼市

福岡県太宰府市では、「高齢者あんしんダイヤル」事業について視察しました。この事業は、地域包括支援センターの閉庁時間でも、高齢者の健康や介護に関わる悩み事について電話相談ができるもので、専門業者に委託して実施されています。電話の応対者は看護師やケアマネージャー、臨床心理士といった資格を有する者があたるため、幅広い相談に応じることができます。

大野城市では、「教育サポートセンター」について視察しました。これは、「教育と福祉のジョイント」と銘打ち、0歳から15歳までの子どもを一貫して支援しようとするもので、全国的にも珍しい組織です。センターには校長経験者や社会福祉士などが配置され、いじめや不登校、発達障がいなどの様々なケースに対し、チームで対応する体制が整えられており、縦割行政の弊害が無く、必要な情報を的確に収集でき、実際の不登校解消にもつながったケースも報告されています。

神埼市では、「学校教育事業」について視察しました。神埼市は、近年叫ばれる子どもの規範意識の低下を未然に防ぐため、改めて守るべき事項を掲げた「神埼市四か条の誓い」を作成、子どもたちだけでなく、広く市民に周知をしています。これは、子どもは学校だけでなく、地域全体で育てていくものだという考え方に基づいてお

り、この「四か条の誓い」の周知によって、大人の教育に対する意識も高まりつつあるとのことでした。

春日市では「コミュニティスクール」について視察しました。これは、学校に学校運営の方針を決定する「学校運営協議会」を置き、構成員に自治会、PTA等地域の方々に入ってもらうことで、教育における学校・家庭・地域の役割を明確化し、相互に連携して子どもを育てる基盤を作ろうとするものです。この取り組みにより、子どもの学力向上はもとより、学校・家庭・地域の三者が連携することで地域活性化の効果が生まれているとのことでした。



春日市での行政視察の様子

## 一般質問

# 市の明日を考える!

12月定例会の一般質問は、12月8日から11日の4日間にわたり19人の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。

[発言順]

### 石井 馨

[あぶくま会]



- ① 除染について
- ② 有害鳥獣対策について

### 問

- ① ①住宅除染の進捗状況は。  
  
②除染実施世帯、とりわけ子育て世帯の方の不安解消のための意見聴取の場が必要では。
- ② ①イノシシ対策について恒常的対策をとる必要から専門の部署を設置しては。  
②イノシシ他の有害鳥獣の捕獲について基準の見直しが必要では。

### 答

- ① ①11月末現在、13,446世帯の除染完了、71%の実施率。仕上げの7期対策を発注済み。  
②放射線管理を徹底し、保健センター等に相談していただけるよう周知していきたい。
- ② ①鳥獣被害対策実施隊が年間を通じて関係団体と連携して活動しており、当面、設置は考えていない。  
②捕獲の許可に関する基準は国の法律に定められており、基準の見直しの詳細についてはまだ示されていないので推移を見守りたい。

### 加藤 建也

[市政刷新会議]



- ① 市長の一年を振り返っての政治姿勢・政治活動について
- ② 高齢者温泉等保養健康増進事業について

### 問

- ① 今までに職員からどのような政策の提言がなされ、政策が組み入れられたのか。現在どのような政策を実施し、その成果は。それを継続するには具体的にどのように取り組まれるのか。
- ② 温泉宿泊券以外にも選択できる新規事業を検討すべきでは。市民の声、要望を真摯に聞く姿勢はあるのか。1,054名の市民からいただいたアンケート結果の当局の感想は。

### 答

- ① 月2回の政策会議を開催しテーマを決めて検討チームを設け協議している。これまでの成果として、除雪機の購入など冬の対策を講じたこと、緊急情報メールサービスの開始、「mamaになるならにほんまつ」のチラシ作成など。新年度の予算編成に向け、人口減少対策に取り組む。
- ② 要望は認識しているが、本事業の目的達成には至らないと判断している。アンケート結果については、様々な意見があり、ありがたく感じており、今後の研究課題にする。



## 本多 俊 昭

[真 誠 会]



- ① 除雪対策について
- ② 農業振興策について

### 問

- ① ①市で行う除雪回数の基準等、除雪作業の基準は。  
②通学路の歩道除雪対策について、小型除雪機を各住民センターに配置したが、作業範囲の取り決めは。  
③除雪対象路線の拡大について、市道隠里・高屋敷線、大沢・手代内線を除雪対象路線に拡大すべきでないか。

- ② 米価下落に伴う市の対応について

### 答

- ① ①15cm以上の積雪が予想される場合、速やかに除雪に着手し厚さが10cm以下になるまで除雪する。除雪回数の基準は設けない。  
②市が除雪対象としていない歩道、生活道路を対象としている。  
③地域内の幹線市道除雪に目途が立ってから、市道の積雪の状況をみて対応することになる。
- ② 飼料米拡大を推進し水稻農家の所得確保と畜産農家の飼料確保を図り集落営農化、担い手の規模拡大による生産費低減を進めていきたい。

## 菅 野 明

[日本共産党二本松市議団]



- ① 二本松病院の現状について
- ② 米価暴落問題について

### 問

- ① 全国的な産科医不足のもとJCHO二本松病院について、  
①診療体制の縮小が進んでいるのでは。  
②市長は「出産できる病院存続」で取り組んできたが、国等への働きかけ、産科医確保の見通しなど病院との協議は。

- ② 「米作ってメシ食べねえ」の米価、  
①本市の今年産の米価暴落の影響額は。  
②本市独自の価格補てんなど米価対策の実施を。

### 答

- ① ①平日ほぼ全日診療の実施は、内科、外科、整形外科、泌尿器科。皮膚科・婦人科は週1~3回、小児科が従来週1回診療から本年4月より休診中で若干縮小傾向。  
②7月森少子化大臣に産科医確保の要望書提出。JCHO本部で代表者と意見交換し、「継続して検討したい」との回答。今後も病院や郡内各市村と連携し要望を続ける。
- ② ①個々の農家の出荷先が多岐にわたるなど、把握は困難。  
②市単独事業としての対策は困難。

## 安 齋 政 保

[市 政 会]



- ① 除染について

### 問

- ① 18才未満の宅地除染について  
①18才未満の住宅総数は。そのうち、除染した実数は。また、宅地内埋設した件数は。  
②宅地内埋設した除染物の仮置場への搬出は、いつから行うのか。  
③その予算は、どうするのか。



早く仮置き場へ

### 答

- ① ①平成24年度の状況で、戸建てとアパート等合わせて5,038世帯。戸建ての件数で除染実施世帯が3,886世帯で、敷地内保管が3,218世帯。  
②仮置場が確保された地区については平成27年度に仮置場への移送を行う計画。  
③事業に要する経費は、平成27年度予算に計上すべく事務を進めており、その財源は、全額、除染対策事業交付金で支弁されると考えている。

## 平 栗 征 雄

[市政刷新会議]



- ① スカイピアあだたらの保養館運営について
- ② 仮設住宅の供与期限と災害公営住宅の進捗状況について

### 問

- ① 健康増進を図るための、マッサージ器やヘルストロン設備等の健康・体力づくり設置の考えはあるか。



リニューアルとなった休憩室

- ② ①仮設住宅の供与期限の延長は。  
②災害公営住宅の進捗状況について（12月現在）

### 答

- ① 新しい健康増進を図る施設の整備については、指定管理者及び健康増進担当部局と協議していく。
- ② ①応急仮設住宅の敷地については避難者が23年6月から入居し、県からは、平成28年3月31日まで供与期間の延長通知があった。  
②根柄山地区内は、現在、造成設計・地質調査・建築設計が、石倉地区内は、測量・地質調査・造成設計が実施され、若宮と表地区内は、11月14日付で用地費・測量設計費の交付可能額通知を受けたところである。

## 浅 川 吉 寿

[あぶくま会]



- ① 教育委員会制度改革について
- ② 安達ヶ原地域の総合整備計画について

### 問

- ① 新制度により市長の介入により政治的中立が保てるか懸念があるかどうか。
- ② 市長は安達ヶ原ふるさと村、安達ヶ原公園とその周辺地域10haの整備計画について熱い思いがあったが、実現しうる壮大な構想があれば披露いただきたい。



リニューアルした安達ヶ原ふるさと村の屋内遊び場

### 答

- ① 総合教育会議で市長と協議・調整は行う。最終的な執行権限は教育委員会にあるので市長の介入はなく政治的中立は保たれる。
- ② 福祉ゾーン、歴史文化ゾーン、親子ふれあいゾーンとして整備を図ると同時に施設を利用したイベントの企画等、市民・観光客ともにつろげ、楽しむことができる管理運営を目指す。また、地元大平に設立された「安達ヶ原ふるさと村と堤防の景観を良くする会」に全面的協力し、彼岸花の里にする。

## 堀 籠 新 一

[真 誠 会]



- ① 市政運営について
- ② 原発事故災害について

### 問

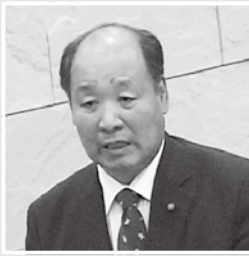
- ① 合併10年、二本松市補助金の見直しについて、  
①防火用水施設整備補助金は。  
②生活用水確保に対する補助金は。
- ② ①平成27年度の除染計画は。  
②葉タバコの原発事故に伴う、農業用施設の除染対策は。  
③東京電力への一般会計に係る原子力災害損害賠償の請求額は。  
④現在までに賠償された金額は。  
⑤損害賠償について、今後市の対応策は。

### 答

- ① ①現状の補助金により助成する。  
②補助金額の増額は、改善に向けて前向きに調整していく。
- ② ①店舗、空き家、小公園等の除染、併せて住宅敷地内に一時保管した除去土壌を仮置き場へ移動する。  
②生活圏内の除染終了後、試験栽培結果や空間線量等を考慮し、関係機関と協議を進めながら検討する。  
③3年分で9億8,043万3,481円。  
④未だ支払いには至っていない。  
⑤税の減収分、人件費等は引き続き県内自治体と連携し、強く求める。

## 深谷 勇吉

[真誠会]



- ①牛に与える粗飼料について
- ②キュウリの立枯病について

### 問

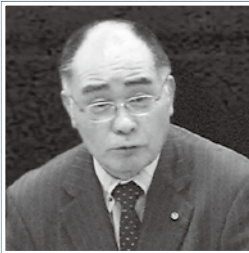
- ①搾乳牛に与える牧草で30ペクレル以上のものは補償の対象になるが30ペクレル以下は自主調整により出費を余儀なくされているが、
  - ①市は現状を把握しているか。
  - ②対策はあるのか。
- ②キュウリは稲作に次ぐ基幹作物であり立枯病は深刻な状況である。立枯病全体としての対策はあるのか。また、立枯病に効果がある薬はあるが、高価と聞く。市として補助などは考えられるか。

### 答

- ①①各農家により実施されている現状は確認している。
  - ②畜産農家には負担となっており、全農及び県酪農協同組合と今後の対応について協議する。
- ②栽培圃場の変更が有効であるが、カビ菌の一種である「ホモブシス根腐れ病」には薬剤投与が有効手段である。しかし、使用実績が少なく、残留農薬等の不安感があるとのことから、実証試験等も含めた総合的な対策を関係機関・団体等と協議を行い検討していく。

## 熊田 義春

[市政会]



- ①農業整備について
- ②農業委員会の今後の存続は

### 問

- ①①畜産、果樹、野菜、水稻の前年度対比は（平成24年度から平成25年度）。



市内の水田

- ②カメムシ防除対策で補助金支援はできないのか。
- ②農業委員会の今後の存続は。

### 答

- ①①みちのく安達農業協同組合の当管内の平成25年度販売額と前年対比で、畜産1,586,148千円で8.3%の増、果樹60,603千円、3.94%の減。野菜1,370,922千円、38.3%増。水稻は25年産米の一部が特別隔離対策米として買い上げられており、精算が済んでいない。
  - ②環境保全型農業の取組状況や養蚕等の現状から防除剤の使用規制地域見直しと補助事業を検討する。
- ②政府が打ち出した農業委員会改革の今後の動向を注視していく。

## 平 敏子

[日本共産党二本松市議団]



- ①市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例について
- ②介護保険制度について

### 問

- ①①今回提案されている条例の設備・運営基準は、現在実施されている内容と比べてどうか。
  - ②最低基準の向上の取り組みは。
  - ③職員の自己研鑽、知識技能の習得、維持向上等の環境整備、資質の向上の具体的取り組みは。
- ②①高齢者福祉計画の達成状況は。
  - ②地域包括支援センター、高齢福祉課の強化は。
  - ③地域生活圏は旧市町単位だけでなく、小学校・中学校区域での設定は。

### 答

- ①①内容が充実し質が向上する。
  - ②児童の数が1支援で40人以下となるよう、施設の拡張・増設を図る。学校休業日の開所時間は30分早めて7時30分とし、就労者の支援を図る。
  - ③各種研修会への参加、保育や遊びの技術的研修にも参加できるよう配慮し、資質向上の取組を実施、継続。
- ②①概ね計画通り実施している。
  - ②状況を判断しながら人的配置を含めた機能強化について検討していく。
  - ③各種事業のきめ細かいサービスができるよう旧市町にこだわらず検討。

## 菅野 寿雄

[市政会]



- 1 移川下流域に対する洪水被害防止対策について
- 2 二本松市優良牛導入事業について

### 問

- 1 ①県は平成25年8月5日の洪水の原因を流木による河川断面の縮小としているが、流木防止の対策は。  
②市は県に対して、浚渫（しゅんせつ）と土砂撤去を要望してきたが、協議は進んでいるのか。
- 2 ①現在、この事業は実施されていないが、いつから停止となっているのか。また停止に至った理由は。  
②対象農家（酪農家・肥育農家）への事業ニーズ調査を行うべきではないか。

### 答

- 1 ①県は、治山事業・砂防事業等多方面からの対応が必要であり、今後の検討課題であると回答した。  
②県に対して、安達東高校付近から田村市堺までの約10kmについて堆積土砂の撤去を要望している。
- 2 ①二本松市畜産振興連絡会において事業効果を検討、アンケート調査を踏まえた上で、平成23年度から事業を廃止した。  
②酪農の衰退に対する懸念と生産者のニーズ把握が必要との意見もあり、さらに検討して参りたい。

## 高橋 正弘

[あぶくま会]



- 1 イノシシ等の有害鳥獣対策について
- 2 農業振興と農地保全について

### 問

- 1 人の住まなくなった住宅、未耕作畑の増大によって有害鳥獣が増加している。イノシシ等の捕獲状況は。人的被害、農作物被害減少を図るための方策は。
- 2 中山間地域等直接支払い制度事業や人・農地プラン、農地・水・環境保全向上対策事業は継続するのか。集落機能の維持をどう図るのか。

### 答

- 1 イノシシの捕獲状況は、平成25年度が462頭、平成26年度は11月末現在ですすでに360頭となっている。安達農業普及所、近隣市町村と連携を図り対応したい。
- 2 平成27年度から施行される「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」により日本型直接支払制度として継続される予定である。集落機能維持に係る諸問題の解決に向けて取り組む。

## 五十嵐 勝蔵

[真誠会]



- 1 学校・公園等埋設汚染土壌について
- 2 観光の振興について

### 問

- 1 学校・公園等埋設汚染土壌の搬出について伺う。
- 2 二本松提灯祭りの更なる振興について、「二本松提灯祭りの日程について」伺う。



二本松の提灯祭り

### 答

- 1 現在の市内仮置場には搬入できる容量がなく、また新たな仮置場を設置することは困難であり、総合的に判断して今の状態で管理を徹底し、今の埋設地で保管する。
- 2 二本松神社例大祭の日程への関与は特定宗教法人の宗教行為への干渉となり、市はこの協議に関与しない。祭礼関係団体や各字若連等のなかにも日程変更を求める声もあり、今後それらの声がどのように反映されていくか見守っていきたい。

## 佐藤 源市

[あぶくま会]



- 1 公共施設の使用について
- 2 空き校舎活用の見通し及び地域活性化について

### 問

- 1 ①住民センター等の年末年始における貸出しに関する条例改正は。
- ②公共施設の休館日が毎週あるが見直しをすべきと考えるが。



多く利用されている体育館

- 2 ①空き校舎活用による支援対策について。
- ②集落支援員、地域おこし協力隊の事業実態と次年度の方針は。

### 答

- 1 ①住民センター施設利用については貸し出すことを今後検討する。文化センターは委託業者との協議が必要で難しい。体育館は申請し、特に認める場合利用可能。
- ②規則等の改正に合わせ検討する。
- 2 ①地域振興を図る上で特に政策的に対応が可能な事業については、事業支援、活動支援という形で検討する必要がある。
- ②各行政区実態調査結果を分析し魅力ある地域づくりをバックアップし地域活性化を図る。

## 野地 久夫

[市政刷新会議]



- 1 安達駅周辺整備事業等推進について
- 2 安達支所・安達公民館及び安達支所周辺整備等について

### 問

- 1 4号国道へのアクセス道についての考え、轟川整備方針と整備事業主体の考え方について伺う。



護岸未整備の轟川(駅東)

- 2 安達地区子育て支援施設の新たな整備や公園緑地等の整備についての、安達支所周辺整備等について伺う。

### 答

- 1 東西線を延伸し、油井字大森越地内の市道安達駅・源八坂線へ接続し、国道4号バイパスへアクセス計画の見込み。轟川整備は県の事業となるが、計画断面はあるが、現時点で河川整備計画はない。
- 2 安達支所周辺は、安達地域の行政、教育、文化、保健福祉等の公共機能が集中している拠点である。子育て支援施設や公園等の整備など、総合的拠点整備について、次期長期総合計画策定の中で、早急に検討していく。

## 平塚 與志一

[無所属]



- 1 復興工業団地について
- 2 市長の政治指針について

### 問

- 1 合併時に残っていた本市の工業団地の箇所数と面積は。また現在の工業団地の残りはいくらか。

- 2 ①平成26年2月の除雪の反省とこれからの方針について(区長会及び消防団への要請が1週間も遅れたのはなぜか)。
- ②二本松をどのような街にするか。
- ③人口増及びシャッター街をなくすための施策は行っているのか。

### 答

- 1 小沢工業団地ほか2ヶ所で、約13haである。現在の工業団地の残りは2.2haである。
- 2 ①市民の安全安心のため地域と連携を図り迅速な除雪に努める。
- ②本市の街づくりは長期総合計画に基づき取組んできた。
- ③街中の活性化に向けた取り組みは保育料の助成や不妊治療費の拡充、定住促進のための補助の拡大、街中シャッター街の解消に向けては会議所・商工会と連携を強化し、環境の整備に努めてきた。

## 齋藤 広二

[日本共産党二本松市議団]



- ① 安達駅周辺整備事業について
- ② 原発事故等への市長の見解について

### 問

- ① ① 駅東開発は平成23年度着工、27年度末の完成見込みに変更はないか。また、駅ホームへのエレベーター設置の方針は。
- ② ① 県内10基廃炉はオール福島の違い、安倍政権はいまだに福島第二原発の廃炉を明言していないが、市長の見解は。  
② 全原発48基止まって1年3カ月。電力不足はおきていない。事故後国民の節電は原発13基分。「原発再稼働」「原発ゼロ」「原発輸出」についての市長の見解は。

### 答

- ① ① 全体事業費27億円で平成27年度末完成を目指してきたが、JRの業務が繁忙していることから、油王田踏切の歩道工事は28年度完了見込み。JRではエレベーター工事を東西自由通路工事に合わせては難しいとのことであるが、整備していただけるよう継続して協議していく。
- ② ① 県民、市民の感情を考えれば県内の原発は全廃すべき。  
② 国の政策に関することであり、また他の自治体が判断することで答弁は控える。

## 齋藤 賢一

[あぶくま会]



- ① 今後の市政運営について
- ② 政党の機関紙購読の実態について

### 問

- ① 市長就任1年を迎えた感想は。また、1市3町が合併して新二本松市が誕生して10年目になる。合併の効果の検証評価と10年目以降の二本松市建設のビジョンについて伺う。
- ② 公務員の政治活動は公務員法第36条で制限されているが、現在市役所内で特定の政党の機関紙を配布させ、購読し、集金に応じることは市役所市職員としての中立公平を欠き、地方公務員法に抵触しないのか。

### 答

- ① 原発事故からの復旧を優先に行政に取り組んだ。合併の評価は合併のスケールメリットを活かし経常経費の削減が図られたこと、合併特例債を活用し施設整備が図られた。今後は「地方創生、まち、ひと、仕事」の時代。地域の特色を生かして地域戦略・施策を進める。
- ② 庁舎内で購読されている政党機関紙は職員が個人的に購読していること、配布は組織的、計画的、継続的でないので公務の公正は確保されていると認識している。

## 12月定例会賛否一覧

※これ以外の案件等は全会一致で可決されています。

議案名	議員名	議決結果	賛成:反対	本多	佐藤	石井	加藤	本多	熊田	小野	安齋	深谷	菅野	堀籠	佐藤	菅野	小林	浅川	平	野地	平塚	齋藤	佐藤	齋藤	齋藤	高橋	五十嵐	平栗	
				勝実	運喜	馨	建也	俊昭	義春	利美	政保	勇吉	寿雄	新一	有	明	均	吉寿	敏子	久夫	志一	広二	源市	賢一	周一	正弘	勝蔵	征雄	
議案第104号 二本松市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:8		○	○	○	○	○	●	○	●	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第105号 二本松市常勤の特別職の給与の支給等に関する条例及び二本松市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	20:5		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第124号 平成26年度二本松市一般会計補正予算	原案可決	22:3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成、●は反対。 ※議長(中田涼介)は採決に加わりません。

## 12月定例会での討論

議案第104号、  
105号、124号

**反対**

二本松市議会議員の議員報酬  
等に関する条例の一部を改正  
する条例制定について 他

齋藤 広二 議員

議員と市三役の期末手当総額176万円ひきあげるもの。消費税値上げと物価高によって実質賃金が16カ月マイナスとなり、国内総生産が2期連続大幅に落ち込んだ。

市民生活でも市内企業1,253社の6割が赤字。ペットボトルの水よりも安い54円の米価等で6億円の減収。国民年金の総支給額は114億円、引下げと物価高で7億円の实质減。選挙等で政党助成金320億円が共産党以外に支給。手当引上げは市民の納得がえられない。

議案第104号

**反対**

二本松市議会議員議員報酬等に関する条例の一部を改正する  
条例制定について

菅野 寿雄 議員

現在の当市における経済動向は、原発事故による風評被害の克服に向け全市民一丸となって取り組んでいるにもかかわらず、観光客の入り込み数、小売業の販売額、農産物販売額などいずれも原発事故前に戻っていないのが現状と思われる。また、「米」のJA概算金が、JA独自の上積みを行っても1俵8千円に止まるなど、かつてない危機に見舞われている。このような中にあるには、議員報酬を直ちに引き上げるべきではない。よって反対する。

議案第104号、105号

**反対**

二本松市議会議員議員報酬等に関する条例の一部を改正する  
条例制定について 他

平塚 與志一 議員

昨年9月定例会において近隣自治体は、給与引下げに賛成されたが、本市においては、議会で否決され給与引下げはされなかった。確か市長も引下げに反対されたはずである。この影響で交付税が減額され、市民の税金が給与に廻された。

今回の引上げについては、反対である。

議会で否決されたことであるので、議会・市長はじめ特別職については、引上げをすべきではないと思い反対する。

議員の皆さまはいかがか。

## 平成26年第8回（10月）臨時会

10月臨時会は10月21日に開催されました。提出議案は「一般会計補正予算」等4件で、審議の結果、全議案、原案のとおり可決されました。

◎二本松市駐車場条例の一部を改正する条例制定について

◎二本松市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例制定について

安達駅周辺整備事業西口駅前広場整備工事に伴い、駐車場と自転車等駐車場を移設するため、所要の改正を行うもの。

◎工事委託施行協定の締結について

安達駅周辺整備事業東西自由通路整備工事

◎平成26年度二本松市一般会計補正予算（14,914千円増額）

（歳出）水田土壌のカリ成分等の調査に係る水田原発事故対策助成 14,914千円

（歳入）営農再開支援事業県補助金 14,914千円

## 議会を傍聴してみませんか

議場は市役所の6階にあります。議場の入口に置いてある「傍聴人受付簿」に住所、氏名、年齢を記入するだけで議会を傍聴することができます。団体が傍聴する場合には、代表者または責任者の方が、その団体の名称及び傍聴する人数を受付名簿に記入してください。

ただし、会議運営上の秩序を守るため、いくつかの禁止規定が設けられていて、次のような方は傍聴できません。

○危険物を持っている人

○酒気を帯びている人

○はり紙・ビラ・のぼり等を持っている人 ○笛、ラッパ等音の出る器具を持っている人

また、携帯電話をお持ちの方は電源を切って入場していただきます。

基本的には、静かに傍聴していただくということが規定されています。

議会開催の日程・時間については議会事務局に電話等でお問い合わせください。



12月定例会を傍聴する皆さん

議会事務局 TEL 0243-55-5143

10.	1	大分県竹田市議会産業建設常任委員会行政視察受入
	〃	にほんまつ市議会だより編集委員会
	9	にほんまつ市議会だより編集委員会
	16	安達地方市町村議会議長会国への要望活動
	〃	にほんまつ市議会だより編集委員会
	20	議会運営委員会
	〃	埼玉県吉川市議会総務水道・文教福祉・建設生活常任委員会行政視察受入
	21	平成26年第8回(10月)臨時市議会
	〃	会派代表者会
	〃	議員協議会
	30	全国広域連携市議会協議会理事会
	〃	千葉県流山市議会会派行政視察受入
11.	4	安達地方議会議員研修会
	5	全国市議会議長会評議員会
	10	文教福祉常任委員会行政視察(～12日)
	〃	埼玉県白岡市議会総務常任委員会行政視察受入
	11	市民産業常任委員会行政視察(～13日)
	〃	建設水道常任委員会行政視察(～13日)
	13	福島県市議会議長会理事会
	〃	福島県市議会議長会第163回臨時総会(～14日)
	17	総務常任委員会行政視察(～19日)
	20	安達地方広域行政組合議会議会運営委員会
	21	議員協議会
	〃	議会運営委員会
	27	安達地方広域行政組合議会11月定例会
	〃	安達地方広域行政組合議会全員協議会
	28	議会運営委員会
	〃	にほんまつ市議会だより編集委員会
12.	2	平成26年第9回(12月)定例市議会開会
	〃	議員協議会
	〃	会派代表者会
	10	議会運営委員会
	16	議会運営委員会
	17	議会運営委員会
	〃	平成26年第9回(12月)定例市議会閉会
	〃	議員協議会
	19	にほんまつ市議会だより編集委員会

## 市議会ウェブサイト

市議会の活動を分かりやすくお伝えするためにウェブサイトを開いています。ぜひご覧ください。

<http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/site/gikai/>

- 市議会のしくみ
  - 議員名簿
  - 議会中継
  - 会議結果一覧
  - 議会だより
  - 会議録検索システム
- ※市議会ウェブサイトは二本松市ウェブサイト内にあります。

## お知らせ

- ◎次回の定例会は3月上旬開会の予定です。皆様お気軽に傍聴においでください。
- ◎市議会だより、または、当市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。

【あて先】

〒964-8601 二本松市金色403番地1  
市議会だより編集委員会  
TEL 55-5143(議会事務局)  
FAX 22-6047  
E-mail shomu@city.nihonmatsu.lg.jp

## 市政功労者表彰

12月1日、市政功労者表彰式が市役所で行われ、菅野寿雄議員が6年在籍した議員として、功労表彰を受賞されました。



おめでとうございます。



## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、新春を健やかに迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、6月に市議会議員、10月に県知事、12月に衆議院議員のそれぞれの選挙があり、何かとあわただしい一年でした。景気回復等、国民、県民、市民の方々に向けた、しっかりとした政策を望むものであります。

私たち市議会もチーム二本松で全力で働いてまいります。

私たちが議会だよりの編集を担当しています。よろしくお祈いします。



### ◆ 編集委員会 ◆

委員長	深谷 勇吉
副委員長	小野 利美
	佐藤 運喜
	石井 馨
	加藤 建也
	本多 俊昭
	佐藤 有
	野地 久夫